

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人
金沢大学附属病院長 富田 勝

金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	154人
--------	------

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	387人	116人	469.1人	看護補助者	61人	診療エックス線技師	0人	
歯科医師	14人	6人	18.8人	理学療法士	11人	臨床検査技師	53人	
薬剤師	48人	4人	50.5人	作業療法士	7人		衛生検査技師	4人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人		その他	0人
助産師	17人	0人	17.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人	
看護師	809人	17人	820.1人	臨床工学士	9人	医療社会事業従事者	5人	
准看護師	0人	1人	0.7人	栄養士	0人	その他の技術員	14人	
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	152人	
管理栄養士	8人	1人	8.7人	診療放射線技師	36人	その他の職員	20人	

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	731.6人	5.4人	737.0人
1日当たりの平均外来患者数	1,507.9人	72.5人	1,580.4人
1日当たりの平均調剤数			1,348.2剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	76人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	61人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	99人	・原発性胆汁性肝硬変	112人
・全身性エリテマトーデス	306人	・重症急性膵炎	15人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	68人
・再生不良性貧血	103人	・混合性結合組織病	42人
・サルコイドーシス	113人	・原発性免疫不全症候群	18人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・特発性間質性肺炎	22人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	515人	・網膜色素変性症	22人
・特発性血小板減少性紫斑病	83人	・プリオン病	11人
・結節性動脈周囲炎	53人	・肺動脈性肺高血圧症	13人
・潰瘍性大腸炎	206人	・神経線維腫症	13人
・大動脈炎症候群	39人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	24人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	4人
・脊髄小脳変性症	48人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	6人
・クローン病	152人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患	142人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	17人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	14人
・後縦靭帯骨化症	113人	・肥大型心筋症	15人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	29人	・ミトコンドリア病	4人
・ウエゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	31人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症	36人	・黄色靭帯骨化症	8人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害	87人
(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。		合計	2850人

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	バイオアッセイモデルによる上咽頭癌リンパ節転移機構に関する研究	脇坂 尚宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
2	地域医療における軽症糖尿病患者に対する在宅健康サービスの構築	米田 隆	内分泌・代謝内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
3	ペプチドワクチンを用いた肝細胞癌免疫療法の開発	水腰 英四郎	消化器内科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
4	アディポネクチン・コーティングステントの開発とその血管内治療における有効性の検証	八木 邦公	内分泌・代謝内科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
5	先天性除脈発症機構の分子生物学的解明とこれに基づくバイオペースメーカー開発の研究	林 研至	検査部	450,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
6	急性腎障害に対する脂肪由来幹細胞による治療および網羅的バイオマーカーの開発	古市 賢吾	血液浄化療法部	950,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
7	微小PNH型血球陽性骨髄不全診断システムの開発	山崎 宏人	血液内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
8	自己炎症疾患における炎症制御機能解析法の開発;家族性地中海熱をモデルとした研究	東馬 智子	小児科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
9	TrkBのリン酸化;側坐核における薬物依存習慣化の分子スイッチの機序解明と治療法	戸田 重誠	神経科精神科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
10	食道癌に対する低用量DセタキセルとHDAC阻害薬併用化学放射線療法法の基礎的検討	二宮 致	光学医療診療部	870,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
11	手術ロボットを用い口腔内の一つの創のみからアプローチする頸部外科手術の基礎的研究	石川 紀彦	内分泌・代謝内科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
12	乳癌に対するHDAC阻害剤を用いた治療の開発に向けた基礎・臨床研究	井口 雅史	乳腺科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
13	腹膜播種発生に関わる腹膜中皮細胞の間葉系形質転換と造腫瘍性についての実験的検討	伏田 幸夫	胃腸外科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
14	眼圧の日内変動における交感神経系の役割	桜井 真由美	眼科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
15	細胞競合現象に基づく上咽頭癌発癌機構の解析と新規治療法の開発	近藤 悟	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
16	ヒト生体試料のアミロイドβ蛋白オリゴマー形成への影響の解析	小野 賢二郎	神経内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
17	子宮体癌におけるWilms腫瘍遺伝子と細胞増殖及び血管新生での分子生物学的解明	土肥 聡	産科婦人科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
18	上咽頭癌における機能接着シグナリング機構の解明	遠藤 一平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
19	生体共焦点顕微鏡と前眼部光干渉断層計を用いた重症感染性角膜炎の迅速診断法の開発	横川 英明	眼科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
20	強皮症のモデルマウスにおける抗CTGF抗体の治療効果及び作用機序	中條 園子	皮膚科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
21	腎機能障害時のリネノリドおよびその主要代謝物の薬物動態学的パラメータの開発	伊藤 さつき	薬剤部	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
22	GLP-1受容体作動薬ビクトーザの適正使用に関する検討	長田 幸恵	薬剤部	400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
23	非定型抗精神病薬処方時の耐糖能フォローアップに対する薬剤師の介入と影響	坪内 清貴	薬剤部	400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
24	血液型不適合造血幹細胞移植後IgM抗体関連溶血性貧血の予測・早期診断法の確立	佐藤 英洋	輸血部	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
25	温冷交代浴の施行前後における手指電流知覚閾値の変化	堀江 翔	リハビリテーション部	200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
26	裂孔原性網膜剥離における強膜バックリング手術後の脈絡膜厚の変化に関する研究	木村 雅代	眼科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
27	X線CT検査における臓器に即した被ばく低減機構の被写体厚特性の検討	越田 晴香	放射線部	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
28	骨肉種の肺転移形成と血液凝固・線溶因子との関連	木村 浩明	整形外科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
29	副作用マネジメントと毒性回避のための臨床薬物動態研究	崔 吉道	薬剤部	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
30	肝癌幹細胞発生に関わるゲノム異常の網羅的解析	山下 太郎	総合診療部	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
31	ゼブラフィッシュを用いた遺伝性不整脈の病態解明と治療法の確立	蒲生 忠継	循環器内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
32	IgG4関連疾患の病態解明に向けて-T細胞機能異常に基づいたモデルマウスの確立	川野 充弘	リウマチ・膠原病内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
33	C-11メチオニンPETによる虚血性心疾患のリスク層別化のための新しい画像診断	松尾 信郎	核医学診療科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
34	虚血心筋障害、リモデリングにおける心筋間質の病態と血管新生の画像化に関する研究	瀧 淳一	核医学診療科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会

35	肝細胞癌における背景肝の線維化ならびに抗癌治療誘発EMT抑制に関する研究	田島 秀浩	肝胆膵・移植外科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
36	胚性幹細胞研究に基づく肝癌幹細胞増殖機構の解明	高村 博之	肝胆膵・移植外科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
37	膵癌のMesopancreasへの進展に対する臓器発生と筋膜の構造からみた戦略	北川 裕久	肝胆膵・移植外科	300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
38	新型SPY-Qシステム心筋血流評価による交感神経刺激心筋保護法の研究	富田 重之	心臓血管外科	750,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
39	核内受容体・NF- κ Bクロストークを標的とした去勢抵抗性前立腺癌に対する治療戦略	小中 弘之	泌尿器科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
40	癌幹細胞を標的とした婦人科癌治療ならびに腫瘍細胞イメージングシステムの構築	高倉 正博	産科婦人科	1,250,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
41	癌幹細胞理論にもとづく上咽頭癌発癌機構の解明	室野 重之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
42	ラット専用光干渉断層計による緑内障関連モデルにおける網膜各層の構造的変化の解析	東出 朋巳	眼科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
43	心停止傷病者の救急不搬送基準に関する研究	後藤 由和	救急部	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
44	医師の説明義務違反に影響を及ぼす因子の定量的解析及びその臨床応用	越後 純子	経営管理部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
45	統合失調症患者に対する指先触覚認知P300測定システムを用いた触・痛覚の研究	長澤 達也	神経科精神科	350,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
46	3次元超音波ガイド下ロボット肝切除に関する基礎的研究	川口 雅彦	内分泌・総合外科	940,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
47	遺伝子発現プロファイルを用いた肝細胞癌治療における新規バイオマーカーの同定	砂子阪 肇	消化器内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
48	胸腹部大動脈瘤患者における血液凝固線溶異常の原因およびその意義	林 朋恵	血液内科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
49	新規ケモカイン製剤の免疫賦活効果による肝癌の差発抑制効果をめざした免疫療法の開発	荒井 邦明	消化器内科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
50	新規足場蛋白Aki1を標的としたEGFR遺伝子変異肺癌の制御法開発	山田 忠明	がん高度先進治療センター	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
51	多発性嚢胞腎発症機序の解明;モデルマウスを用いたTRPP2の局在異常からの解析	山田 和徳	リウマチ・膠原病内科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
52	アルツハイマー病患者におけるポリフェノールの安全性と有効性に関する検討	篠原 もえ子	神経内科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
53	各種心肺停止時の心肺蘇生に対する内服 β 遮断薬の影響	栗田 昭英	麻酔科蘇生科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
54	顎変形症手術における顎関節応力解析に関する研究	上木 耕一郎	歯科口腔外科	400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
55	同種造血幹細胞移植後閉塞性細気管支炎に対するイマチニブの効果	早稲田 優子	呼吸器内科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
56	家族性高コレステロール血症の新規原因遺伝子が臨床像と生命予後に与える影響	川尻 剛照	循環器内科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
57	心筋梗塞後リモデリングにおけるタンパク質分解系の役割	薄井 荘一郎	循環器内科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
58	免疫調整遺伝子多型解析に基づくテラーメド型同種造血幹細胞移植の確立	高見 昭良	輸血部	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
59	EBV関連血球貪食性リンパ組織球症におけるEBV感染T細胞の解析と病態解明	和田 泰三	小児科	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
60	慢性移植片対宿主病の発症に関与する多様な細胞群の同定とその制御法の確立	西村 良成	小児科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
61	リン酸ジエステル加水分解酵素(PDE)阻害剤は川崎病冠動脈瘤形成を抑制するか?	斉藤 剛克	小児科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
62	サイトカインを標的とする強皮症の治療戦略	長谷川 稔	皮膚科	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
63	皮膚免疫疾患におけるB細胞抑制性受容体CD22/72の制御機構	濱口 儒人	皮膚科	2,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
64	多様化する血管内治療デバイスに対応した磁気共鳴画像による塞栓脳動脈瘤破裂徴候検出	植田 文明	放射線科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
65	ステントグラフト内挿術を支援する大動脈フィルターデバイスの開発に関する研究	眞田 順一郎	放射線科	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
66	呼吸移動性腫瘍に対する呼吸停止下回転型強度変調照射法の開発と臨床応用への研究	高仲 強	放射線部	1,950,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
67	肺癌に対する対外肺切除における、気管支創傷治癒へのキトサンナノ繊維シートの効果	松本 勲	呼吸器外科	2,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
68	腫瘍脊椎骨全摘術後の骨欠損に対する自己脂肪由来幹細胞を用いた骨再生	出村 諭	脊椎・脊髄外科	1,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
69	テロメア動態と上皮間葉移行機序を応用した血管内浮遊癌細胞に対する治療戦略	北川 育秀	泌尿器科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
70	男性不妊症における精巣 small RNA 制御機構に関する研究	前田 雄司	泌尿器科	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
71	癌間質線維芽細胞を標的とした新たな子宮内膜癌治療戦略の開発	水本 泰成	産科婦人科	1,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
72	子宮内膜癌幹細胞の解析と難治性癌治療法開発への応用	中村 充宏	産科婦人科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会

73	我が国と欧米の中絶医療実態の比較研究	打出 喜義	産科婦人科	200,000 円	☑	補委	日本学術振興会
74	dUTPaseとwntシグナルを標的とした肝細胞癌新規治療薬の開発	鷹取 元	救急部	2,400,000 円	☑	補委	日本学術振興会
75	BMI変動による薬物動態個人間変動の解明と臨床応用	澤本 一樹	薬剤部	1,300,000 円	☑	補委	日本学術振興会
76	抗microRNA122療法を基軸とした新規抗C型肝炎ウイルス治療法の開発	島上 哲朗	消化器内科	1,500,000 円	☑	補委	日本学術振興会
77	前立腺癌に対する小線源治療併用強度変調放射線治療における適切な臓器線量制約の確立	藤井 博	救急部	1,600,000 円	☑	補委	日本学術振興会
78	皮膚虚血再灌流傷害マウスモデルを用いた臨床的褥瘡予防治療法の検討・開発	齋藤 佑希	皮膚科	1,800,000 円	☑	補委	日本学術振興会
79	甲状腺全摘出後の残存甲状腺組織の検出	萱野 大樹	核医学診療科	1,000,000 円	☑	補委	日本学術振興会
80	肝細胞癌のGd-EOB-DTPA造影MRIによるsubtype分類	北尾 梓	放射線部	1,200,000 円	☑	補委	日本学術振興会
81	前立腺癌に対する小線源治療併用強度変調放射線治療における適切な臓器線量制約の確立	熊野 智康	放射線治療科	500,000 円	☑	補委	日本学術振興会
82	細胞修復阻害と腫瘍内酵素化を用いた神経芽腫内照射療法の抗腫瘍効果増強	若林 大志	核医学診療科	1,600,000 円	☑	補委	日本学術振興会
83	IgG4関連疾患における耳鼻咽喉科領域からの病態解析アプローチ	中西 清香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,000,000 円	☑	補委	日本学術振興会
84	口腔扁平上皮癌に対するAMPK活性化薬剤の抗腫瘍効果に関する実験的研究	加藤 広祿	歯科口腔外科	2,100,000 円	☑	補委	日本学術振興会
85	口腔扁平上皮癌におけるClaudin機能発現が浸潤・転移に及ぼす影響	吉澤 邦夫	歯科口腔外科	1,700,000 円	☑	補委	日本学術振興会
86	口腔扁平上皮癌の浸潤・転移に対する血管新生阻害剤および線維芽細胞増殖抑制剤の効果	野口 夏代	歯科口腔外科	1,300,000 円	☑	補委	日本学術振興会
87	心筋ミオシン軽鎖キナーゼ変異による新しい心筋症発症機序の解明	今野 哲雄	循環器内科	800,000 円	☑	補委	日本学術振興会
88	GSK3βを分子標的とする悪性グリオーマ治療の基礎基盤の構築	宮下 勝吉	脳神経外科	1,800,000 円	☑	補委	日本学術振興会
89	C型肝炎ウイルス感染特異的な長鎖ノンコーディングRNAの探索	島上 哲朗	消化器内科	8,000,000 円	☑	補委	厚生労働省
90	肝炎に関する全国規模のデータベースを用いた肝炎治療の評価及び肝炎医療の向上に資する研究	酒井 明人	消化器内科	2,000,000 円	☑	補委	厚生労働省
91	肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究	酒井 明人	消化器内科	1,000,000 円	☑	補委	厚生労働省
92	慢性ウイルス性肝疾患患者の情報収集の在り方等に関する研究	酒井 明人	消化器内科	1,500,000 円	☑	補委	厚生労働省
93	IgG4関連疾患に関する調査研究	川野 充弘	リウマチ・膠原病内科	2,100,000 円	☑	補委	厚生労働省
94	先天性QT延長症候群の家族内調査による遺伝的多様性の検討と治療指針の決定	林 研至	検査部	1,800,000 円	☑	補委	厚生労働省
95	遺伝性不整脈疾患の遺伝子基盤に基づいた病態解明と診断・治療法の開発に関する研究	林 研至	検査部	2,000,000 円	☑	補委	厚生労働省
96	移植細胞源を異にする非血縁造血細胞移植の組織適合性に基づく成績向上と移植選択アルゴリズムの確立に関する研究	高見 昭良	輸血部	1,000,000 円	☑	補委	厚生労働省
97	造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤エビデンスの確立に関する研究	高見 昭良	輸血部	500,000 円	☑	補委	厚生労働省
98	腹膜偽粘液腫の本邦における発生頻度・病態の解明・治療法の開発	宮本 謙一	薬剤部	700,000 円	☑	補委	厚生労働省
99	B型肝炎の新規治療薬を開発するための宿主の自然免疫系の解析に関する研究	水腰 英四郎	消化器内科	18,000,000 円	☑	補委	厚生労働省
100	過栄養状態の肝臓が産生するタンパクと生活習慣病の関連	金子 周一	消化器内科	7,300,000 円	☑	補委	日本学術振興会
101	悪性神経内分泌腫瘍に対する分子生物学的・組織学的特徴に基づいた集学的内照射療法	絹谷 清剛	核医学診療科	3,400,000 円	☑	補委	日本学術振興会
102	霊長類に特異的なニューロン新生と脳再生療法の研究開発	山嶋 哲盛	医学系再生脳外科学	2,700,000 円	☑	補委	日本学術振興会
103	制御性B細胞による皮膚免疫疾患の抑制機構の分子メカニズム	藤本 学	皮膚科	4,700,000 円	☑	補委	日本学術振興会
104	蛍光イメージングを用いた骨軟部腫瘍の進展機序解明と治療戦略	土屋 弘行	整形外科	2,900,000 円	☑	補委	日本学術振興会
105	前立腺癌の増殖・再燃に関わる分子機序の解明と再燃に対する総合的治療戦略の構築	並木 幹夫	泌尿器科	2,300,000 円	☑	補委	日本学術振興会
106	卵巣チョコレート嚢腫上皮の不死化、癌化による多段階発癌モデルの構築と分子標的探索	京 哲	産科婦人科	4,000,000 円	☑	補委	日本学術振興会
107	内因性免疫によるEBV感染制御機構と上咽頭癌発癌機構に関する研究	吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,900,000 円	☑	補委	日本学術振興会
108	再生不良性貧血におけるゲノム異常を利用した造血抑制因子の同定	中尾 眞二	血液内科	6,300,000 円	☑	補委	日本学術振興会
109	高機能自閉症成人例におけるオキシトシンの効果と生物学的背景の検討	三辺 義雄	神経科精神科	2,500,000 円	☑	補委	日本学術振興会
110	婦人科癌における末梢血中腫瘍細胞からの遺伝子変異及びトランスクリプトームの解析	井上 正樹	産科婦人科	5,900,000 円	☑	補委	日本学術振興会

111	アジア系人種における糖尿病性腎症の予後調査と予後規定因子の国際比較研究	和田 隆志	検査部	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
112	疾患リスクを基盤とする心画像診断体系の構築に関する研究	中嶋 憲一	核医学診療科	1,100,000 円	✓	補委	日本学術振興会
113	がん間質の再構築誘導による新規難治がん治療法の開発	太田 哲生	肝胆膵・移植外科	500,000 円	✓	補委	日本学術振興会
114	血栓溶解剤と血管拡張剤の大槽内注入による脳血管攣縮予防法と治療法	濱田 潤一郎	脳神経外科	900,000 円	✓	補委	日本学術振興会
115	先天性難聴モデル動物における聴覚中枢の発達と可塑性について	伊藤 真人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000 円	✓	補委	日本学術振興会
116	水疱性角膜症に対する新しい角膜内皮移植術(nDSAEK)の開発と包括的視機能解析	小林 颯	眼科	1,200,000 円	✓	補委	日本学術振興会
117	緑内障性視神経障害進行の活動部位仮説の立証と乳頭出血、予後予測に関する研究	杉山 和久	眼科	600,000 円	✓	補委	日本学術振興会
118	肺癌におけるcMetとTopoisomerase Iの関連	笠原 寿郎	呼吸器内科	1,200,000 円	✓	補委	日本学術振興会
119	遺伝子導入による間葉系幹細胞の肝修復再生能プログラミングと肝再生療法への応用	酒井 佳夫	検査部	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
120	肥満による肝インスリン抵抗性形成におけるプロテアソーム機能異常の意義	篁 俊成	内分泌・代謝内科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
121	全身性強皮症患者および線維化モデルマウスにおける制御性B細胞の解析	竹原 和彦	皮膚科	800,000 円	✓	補委	日本学術振興会
122	自動吻合器を用いたロボット支援下心拍動下左室心尖大動脈バイパスの基礎的研究	渡邊 剛	心臓血管外科	1,400,000 円	✓	補委	日本学術振興会
123	悪性グリオーマの浸潤シグナルを狙った分子標的療法の確立	中田 光俊	脳神経外科	1,400,000 円	✓	補委	日本学術振興会
124	意識および記憶のモニタリング方法の開発	山本 健	麻酔科蘇生科	1,400,000 円	✓	補委	日本学術振興会
125	男性不妊症をゲノムDNA構造からアプローチする—X染色体を分析する—	高 榮哲	泌尿器科	1,200,000 円	✓	補委	日本学術振興会
126	医療行為や食品等によるアルツハイマー病の伝播あるいは発症促進に関する研究	山田 正仁	神経内科	350,000 円	✓	補委	日本学術振興会
127	造血幹細胞におけるHLAアレル欠失現象を利用した再生不良性貧血自己抗原の同定	中尾 眞二	血液内科	800,000 円	✓	補委	日本学術振興会
128	腫瘍増殖型ウイルスを用いた血中循環がん細胞の検出と卵巣癌再発予測への応用	京 哲	産科婦人科	800,000 円	✓	補委	日本学術振興会
129	ミセル化シスプラチン開発による新規頭頸部癌治療コンセプト	吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	450,000 円	✓	補委	日本学術振興会
130	口腔扁平上皮癌の浸潤・転移における腫瘍間質の役割	川尻 秀一	歯科口腔外科	800,000 円	✓	補委	日本学術振興会
131	悪性骨腫瘍に対する凍結免疫療法の確立	土屋 弘行	整形外科	1,400,000 円	✓	補委	日本学術振興会
132	線維化を抑制する新しい制御性B細胞サブセットの同定	藤本 学	皮膚科	1,400,000 円	✓	補委	日本学術振興会
133	統合失調症における大脳基底核出力ニューロンの死後脳を用いた解析	橋本 隆紀	神経科精神科	1,750,000 円	✓	補委	日本学術振興会
134	神経細胞死におけるHsp70とその関連蛋白の意義	三辺 義雄	神経科精神科	100,000 円	✓	補委	日本学術振興会
135	統合失調症の大脳皮質における機能的結合性についての総合的脳画像研究	橋本 隆紀	神経科精神科	530,000 円	✓	補委	日本学術振興会
136	制御性B細胞におけるPI3Kシグナルによる制御機構の解析	松下 貴史	皮膚科	1,500,000 円	✓	補委	日本学術振興会
137	上皮間葉移行は側頭骨原発扁平上皮癌の予後を決定するか	杉本 寿史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800,000 円	✓	補委	日本学術振興会
138	肝幹細胞由来肝癌の画像所見と病理・病態の解析	小坂 一斗	放射線科	1,400,000 円	✓	補委	日本学術振興会
139	DNAメチル化異常による精子形成障害と不妊治療に及ぼす影響	杉本 和宏	泌尿器科	1,700,000 円	✓	補委	日本学術振興会
140	BMP2の血管新生に対する役割の解明とBMP2産生細胞による新しい骨再生法の開発	松原 秀憲	整形外科	1,200,000 円	✓	補委	日本学術振興会
141	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 正仁	神経内科	66,154,000 円	✓	補委	厚生労働省
142	ウイルス性肝疾患に対する分子標的治療創薬に関する研究	金子 周一	消化器内科	46,029,000 円	✓	補委	厚生労働省
143	HBV cccDNAの制御と排除を目指す新規免疫治療薬の開発	金子 周一	消化器内科	80,768,000 円	✓	補委	厚生労働省
144	糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療水準向上と重症化防止に向けた調査・研究	和田 隆志	検査部	20,000,000 円	✓	補委	厚生労働省
145	再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	中尾 眞二	血液内科	1,000,000 円	✓	補委	厚生労働省
146	先天性角化不全症の効果的診断方法の確立と治療ガイドラインの作成に関する研究	中尾 眞二	血液内科	500,000 円	✓	補委	厚生労働省
147	特発性造血障害に関する調査研究	中尾 眞二	血液内科	2,000,000 円	✓	補委	厚生労働省
148	治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	三辺 義雄	神経科精神科	400,000 円	✓	補委	厚生労働省

149	治療抵抗性総合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	三邊 義雄	神経科精神科	1,300,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
150	かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムの有用性を検討する研究	和田 隆志	検査部	400,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
151	難治性血管炎に関する調査研究	和田 隆志	検査部	890,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
152	インターロイキン1受容体関連キナーゼ4 (IRAK4)欠損症の全国症例数把握及び早期診断スクリーニング・治療法開発に関する研究	谷内江昭宏	小児科	800,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
153	家族性地中海熱の病態解明と治療指針の確立	谷内江昭宏	小児科	500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
154	原発性免疫不全症候群に関する調査研究	谷内江昭宏	小児科	1,500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
155	遺伝子修復異常症(Bloom症候群、Rothmund-Thomson症候群、RAPADILINO症候群、Biller-Gerold症候群)の実態調査、早期診断法の確立に関する研究	谷内江昭宏	小児科	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
156	自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	谷内江昭宏	小児科	2,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
157	アミロイドーシスに関する調査研究	山田 正仁	神経内科	1,900,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
158	J-ADNIコアスタディ:画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立	山田 正仁	神経内科	1,500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
159	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	山田 正仁	神経内科	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
160	創薬と新規治療法開発に資するヒト肝細胞キメラマウスを用いた肝炎ウイルス制御に関する研究	金子 周一	消化器内科	2,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
161	アジアにおいて特に蔓延するウイルス性肝炎患者の制御へ向けた日米共同肝炎ウイルス肝炎研究	金子 周一	消化器内科	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
162	NO口腔癌における選択的頸部郭清術とセンチネルリンパ節ナビゲーション手術の無作為化比較試験	吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
163	特発性心筋症に関する調査研究	山岸 正和	循環器内科	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
164	肝硬変に対する細胞治療法の臨床的確立とそのメカニズムの解明	酒井 佳夫	検査部	2,500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
165	視覚系の稀少難治性疾患群に関する症例データベース構築	杉山 和久	眼科	2,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
166	脊柱靭帯骨化症に関する研究	土屋 弘行	整形外科	500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
167	肝移植後C型肝炎に対する治療法の標準化を目指した臨床的ならびに基礎的研究	太田 哲生	肝胆膵・移植外科	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
168	自己免疫疾患に関する調査研究	藤本 学	皮膚科	2,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
169	強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	藤本 学	皮膚科	1,300,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
170	遺伝子検査の社会的要請に応じた簡便な遺伝子変異スクリーニング法の開発と普及	新井田 要	子どものこころの診療科	700,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
171	小児における確率的脳座標の作成	菊知 充	子どものこころの診療科	900,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
172	自閉症スペクトラム障害と双極性障害の類似症状に着目した脳科学的研究	棟居 俊夫	子どものこころの診療科	700,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
173	腫瘍血管系を標的としたがん浸潤転移とがん幹細胞制御法の確立	矢野 聖二	がん高度先進治療センター	1,500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
174	呼吸器悪性腫瘍の微小環境の特性を標的とした新規制御法の開発	矢野 聖二	がん高度先進治療センター	11,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
175	Rasシグナル活性化変異を有する原発性肺癌を標的とした新規治療法の開発	竹内 伸司	がん高度先進治療センター	1,200,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
176	基幹的細胞調節経路の異常に起因する消化器がんの病態解明とがん制御への応用	源 利成	がん進展制御研究所	7,200,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
177	ゲノムの低メチル化とレトロポソンの活性化を特徴とする大腸がんの診断・治療開発	川上 和之	がん進展制御研究所	4,100,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
178	肺がんの転移と分子標的薬耐性を克服する統合的研究	矢野 聖二	がん高度先進治療センター	7,400,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
179	HGF/cMET axisとHB-EGFを標的とした胃癌標的治療法の開発	安本 和生	がん高度先進治療センター	1,100,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
180	ソレドロン酸投与と発熱およびサイトカイン産生に関する検討	毛利 久継	がん高度先進治療センター	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
181	がん特異的エネルギー代謝を標的とする消化器がん治療法の開発	源 利成	がん進展制御研究所	800,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
182	心不全におけるCa ²⁺ 過負荷の分子病態学的意義とその内在的防御因子の解明	山岸 正和	循環器内科	1,830,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人 車両競技公益資金記念財団
183	不整脈疾患における先制医療としての遺伝子診断と機能解析の開発	山岸 正和	循環器内科	2,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本循環器学会
184	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	武田 仁勇	内分泌・代謝内科	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
185	原発性高脂血症に関する調査研究	野原 淳	循環器内科	1,050,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省

186	ほくりく健康創造クラスター:脳老化・認知障害の早期診断・経時的評価のための総合システムの開発	山田正仁	神経内科	22,545,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
187	高齢者・アルツハイマー病患者の脳循環代謝に対する脳アミロイドアンギオパチーの影響	山田正仁	神経内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人 先進医療保健研究振興財団
188	アリピプラゾールによる大うつ病増強法の分子機序	小杉桜子	神経科精神科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益信託松原三郎記念精神医学育成基金
189	慢性肉芽腫症の新しいスクリーニング・診断法の開発	和田泰三	小児科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人 森永寿社会研究奨励金
190	腸管出血性大腸菌感染症重症化背景の解明と早期治療介入の評価法に関する研究	清水正樹	小児科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	財団法人 川野小児医学奨励財団 研究助成金
191	ElektaSynergy画像誘導放射線治療による呼吸停止下高精度放射線治療の開発と臨床的有用性に関する研究	高仲 強	放射線治療科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(財)北國がん研究振興財団
192	全身性強皮症における制御性B細胞の役割の検討	松下貴史	皮膚科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本リディアオリリー協会
193	線維化疾患とRegulatory B細胞	松下貴史	皮膚科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本応用酵素協会
194	免疫療法が同時に可能な新しい脊椎癌根治手術の開発	村上 英樹	脊椎・脊髄外科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人高松宮妃癌研究基金
195	抗菌作用を有するヨード担持チタン製人工関節素材の骨固着性および細菌抵抗性に関する基礎的研究	加畑 多文	整形外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人日本股関節研究振興財団
196	日本人の骨粗鬆症スクリーニングにおけるFRAX®が持つ役割-地方中核都市における骨粗鬆症検診データからの解析-	山本 憲男	整形外科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人骨粗鬆症財団
197	腫瘍脊椎骨全摘術における脊髄機能の安全性に関する検討	出村 諭	脊椎・脊髄外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人整形災害外科学研究助成財団
198	遺残組織を温存する鏡視下前十字靭帯再建術の意義-遺残組織の組織学・生体力学的検討-	中瀬 順介	整形外科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
199	骨肉腫の肺転移巣形成と血液凝固・線維素溶解因子との関連-蛍光蛋白発現骨肉腫細胞と肺の生体内イメージングモデルを用いた解析-	木村 浩明	整形外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人整形災害外科学研究助成財団
200	舌癌pN0リンパ節内リンパ管数による後発転移の推定	脇坂 尚宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人アステラス病態代謝研究会
201	チロシンキナーゼ蛋白質発現解析に基づく膠芽腫個別化化学療法の確立	中田光俊	脳神経外科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人武田科学振興財団 医学系研究奨励
202	悪性脳腫瘍に対する術中光線力学療法の確立	中田光俊	脳神経外科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益信託 外科学研究助成基金
203	GSK3β阻害剤カクテルを使用する新規膠芽腫治療法の確立	中田光俊	脳神経外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人がん研究振興財団 がん研究助成金
204	慢性炎症に伴う臓器線維化の分子・細胞基盤	和田隆志、他	検査部	22,310,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	科学技術振興機構
205	分子標的薬の感受性・耐性を規定する新たな分子機構の解明	矢野 聖二	がん高度先進治療センター	11,050,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省次世代がん研究
206	中皮腫の進展におけるAggrusの関与を解明する研究	矢野 聖二	がん高度先進治療センター	22,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	医薬基盤研究所

(注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「✓」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	PLoS One (2012.4)	Inverse Correlation between Serum Levels of Selenoprotein P and Adiponectin in Patients with Type 2 Diabetes.	Misu H	内分泌内科・代謝内科
2	Metabolism (2012.4)	Beneficial effect of branched-chain amino acid supplementation on glycemic control in chronic hepatitis C patients with insulin resistance: Implications for type 2 diabetes.	Takeshita Y	内分泌内科・代謝内科
3	J Immunol (2012.5)	Aberrant macrophages mediate defective kidney repair that triggers nephritis in lupus-susceptible mice.	Iwata Y	腎臓内科
4	Cancer Gene Ther (2012.5)	Membrane-bound form of monocyte chemoattractant protein-1 enhances antitumor effects of suicide gene therapy in a model of hepatocellular carcinoma.	Marukawa Y	消化器内科
5	Clin Exp Pharmacol Physiol (2012.6)	Pharmacokinetics and pharmacodynamics of insulin aspart in patients with type 2 diabetes: assessment using a meal tolerance test under clinical conditions.	Ando H	内分泌内科・代謝内科
6	Immunogastroenterology (2012.7-9)	Identification of Aldo-Keto Reductase 1C3-Derived Peptides Recognized by Cytotoxic T cells in Hepatocellular Carcinoma Patients.	Mizukoshi E	消化器内科
7	J Virol (2012.7)	Base pairing between hepatitis C virus RNA and microRNA 122 3' of its seed sequence is essential for genome stabilization and production of infectious virus.	Shimakami T	消化器内科
8	Diabetes (2012.7)	CCR5 plays a critical role in obesity-induced adipose tissue inflammation and insulin resistance by regulating both macrophage recruitment and M1/M2 status.	Kitade H	内分泌内科・代謝内科
9	Neuroendocrinology (2012.8)	Comparison of chemotherapeutic treatment outcomes of advanced extrapulmonary neuroendocrine carcinomas and advanced small-cell lung carcinoma.	Terashima T	消化器内科
10	Liver Int (2012.8)	Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein A2/B1 in association with hTERT is a potential biomarker for hepatocellular carcinoma.	Mizuno H	消化器内科
11	PLoS One (2012.9)	Metformin prevents and reverses inflammation in a non-diabetic mouse model of nonalcoholic steatohepatitis.	Kita Y	内分泌内科・代謝内科
12	Clin Exp Nephrol (2012.10)	Effects of adipose-derived mesenchymal cells on ischemia-reperfusion injury in kidney.	Furuichi K	腎臓内科
13	Liver Int (2012.11)	Expression of chondroitin-glucuronate C5-epimerase and cellular immune responses in patients with hepatocellular carcinoma.	Mizukoshi E	消化器内科
14	Hepatology (2012.11)	Transcriptomic profiling reveals hepatic stem-like gene signatures and interplay of miR-200c and epithelial-mesenchymal transition in intrahepatic cholangiocarcinoma.	Oishi N	消化器内科
15	Stem Cells Dev (2012.11)	Nucleostemin in injury-induced liver regeneration.	Shugo H	消化器内科
16	肝臓 (2012.11)	閉塞性黄疸を伴う肝細胞癌(HCC)における胆道ドレナージ	野村 能元	消化器内科
17	Br J Haematol (2013.1)	Autoantibodies to erythropoietin receptor in patients with immune-mediated diseases: relationship to anaemia with erythroid hypoplasia.	Hara A	腎臓内科
18	FASEB J (2013.1)	LPA1-induced cytoskeleton reorganization drives fibrosis through CTGF-dependent fibroblast proliferation.	Sakai N	腎臓内科
19	J Echocardiogr 2012; 10: 38-39	Impact of right parasternal view with supine position of echocardiographic visualization of acute Type A aortic dissection.	Yoshimuta T, Yamagishi M.	循環器内科
20	Int J Vasc Med. 2012;2012:127149.	Expression and Function of Ephrin-B1 and Its Cognate Receptor EphB2 in Human Abdominal Aortic Aneurysm.	Sakamoto A, Kawashiri M, Yoshimuta T, Konno T, Hayashi K, Yamagishi M.	循環器内科
21	Am J Cardiovasc Dis. 2012;2(2):84-8.	Rapid changes in plaque composition and morphology after intensive lipid lowering therapy: study with serial coronary CT angiography.	Shimojima M, Kawashiri MA, Konno T, Hayashi K, Yamagishi M.	循環器内科
22	J Clin Endocrinol Metab. 2012 Apr;97(4):1109-13.	Unilateral primary aldosteronism with spontaneous remission after long-term spironolactone therapy.	Yoneda T, Demura M, Kometani M, Yamagishi M, Takeda Y.	内分泌・代謝内科
23	CELL TRANSPLANTATION New Research, Nova Publishers: p45-70, 2012	Chronic graft dysfunction in allogeneic islet transplantation.	Chujo D	内分泌・代謝内科
24	Cell Transplant. 2012;21(12):2783-95.	Emergence of a broad repertoire of GAD65-specific T-cells in type 1 diabetes patients with graft dysfunction after allogeneic islet transplantation.	Chujo D, Yagi K, Yamagishi M.	内分泌・代謝内科
25	Auris Nasus Larynx. 2013 Oct;40(5):514-7.	Warthin's tumor associated with IgG4-related disease.	Aga M, Yamada K, Kawano M.	リウマチ・膠原病内科

26	Mod Rheumatol. 2012 Nov 1. [Epub ahead of print]	Investigations of IgG4-related disease involving the skin.	Yamada K, Yagi K, Ito N, Yamagishi M, Kawano M.	リウマチ・膠原病内科
27	Int J Rheumatol. 2012;2012:609795.	Immunohistochemical Characteristics of IgG4-Related Tubulointerstitial Nephritis: Detailed Analysis of 20 Japanese Cases.	Kawano M, Mizushima I.	リウマチ・膠原病内科
28	Clin Nephrol. 2013 Mar;79(3):246-52.	Henoch-Schönlein purpura nephritis in a patient with IgG4-related disease: a possible association.	Ito K, Yamada K, Mizushima I, Fujii H, Matsumura M, Hayashi K, Yamagishi M, Kawano M.	リウマチ・膠原病内科
29	Arthritis Rheum. 2012 Oct;64(10):3061-7.	Recommendations for the nomenclature of IgG4-related disease and its individual organ system manifestations.	Stone JH, Kawano M.	リウマチ・膠原病内科
30	Int J Rheumatol. 2012;2012:580814.	Cutoff Values of Serum IgG4 and Histopathological IgG4+ Plasma Cells for Diagnosis of Patients with IgG4-Related Disease.	Masaki Y, Yamada K, Kawano M.	リウマチ・膠原病内科
31	Mod Pathol. 2012 Sep;25(9):1181-92.	Consensus statement on the pathology of IgG4-related disease.	Deshpande V, Kawano M.	リウマチ・膠原病内科
32	Int J Rheumatol. 2012;2012:635473.	Clinical Aspects of IgG4-Related Orbital Inflammation in a Case Series of Ocular Adnexal Lymphoproliferative Disorders.	Takahira M, Kawano M, Yamada K.	リウマチ・膠原病内科
33	Mod Rheumatol. 2012 Nov;22(6):859-70.	Clinical and histological changes associated with corticosteroid therapy in IgG4-related tubulointerstitial nephritis.	Mizushima I, Yamada K, Fujii H, Yamagishi M, Matsumura M, Kawano M.	リウマチ・膠原病内科
34	Nephrol Dial Transplant. 2012 Jul;27(7):2755-61.	Light-microscopic characteristics of IgG4-related tubulointerstitial nephritis: distinction from non-IgG4-related tubulointerstitial nephritis.	Yoshita K, Kawano M, Mizushima I.	リウマチ・膠原病内科
35	Mod Rheumatol 22(4):610-615, 2012	Three cases of pneumatosis intestinalis presenting in autoimmune diseases.	Furuichi K(3番目), Wada T(10番目), et al.	腎臓内科
36	Clin Exp Nephrol 16(5):679-689, 2012	Effects of adipose-derived mesenchymal cells on ischemia-reperfusion injury in kidney.	Furuichi K(1番目), Wada T(7番目), et al.	腎臓内科
37	Biochem Biophys Res Commun 428(1):36-43, 2012	Association of changes in the gene expression profile of blood cells with the local tumor inflammatory response in a murine tumor model.	Wada T(8番目), et al.	腎臓内科
38	J Immunol 190(8):4076-4091, 2013	Coordinated changes in DNA methylation in antigen-specific memory CD4 T cells.	Wada T(13番目), et al.	腎臓内科
39	Leukemia. 26(3):461-4 (2012.04)	Successful treatment of Trichosporon fungemia in a patient with refractory acute myeloid leukemia using voriconazole combined with liposomal amphotericin B.	細川晃平	第三内科
40	Haematologica. 97(12):1845-9 (2012.06)	Favorable outcome of patients who have 13q deletion: a suggestion for revision of the WHO 'MDS-U' designation.	細川晃平	第三内科
41	Rheumatology (Oxford). 51(7):1334-6. (2012.07)	Pneumothorax as a first manifestation of SS.	渡辺知志	第三内科
42	Haemophilia 18(4):618-620 (2012.07)	A case of acquired FXIII deficiency with severe bleeding symptoms.	林 朋恵	第三内科
43	Respirology. 17(6):964-8 (2012.08)	Heightened cough response to bronchoconstriction in cough variant asthma.	大倉徳幸	第三内科
44	Int J Hematol. 96(3):357-63. (2012.09)	Late response to low-dose imatinib in patients with chronic phase chronic myeloid leukemia.	高見昭良	第三内科
45	J Infect Chemother.(2012.12)	Successful treatment with chemotherapy and corticosteroids of pulmonary Mycobacterium abscessus infection accompanied by pleural effusion.	岡崎彰仁	第三内科
46	Respir Med 107(1):128-133 (2013.01)	Pulmonary manifestations of ante-ARS antibody positive interstitial pneumonia—with or without PM/DM.	高戸葉月	第三内科
47	Eur Respir J. 41(2):474-477. (2013.02)	Influenza vaccine-induced interstitial lung disease.	渡辺知志	第三内科
48	アレルギーの臨床32(9):68-71(2012.08)	薬剤によるマクロファージ活性化症候群の1例	渡辺知志	第三内科
49	肺癌 52(2):220-225 (2012.04)	診断時に胃転移を認めた小細胞肺癌の2例	岡崎彰仁	第三内科
50	日本輸血細胞治療学会誌 59巻(1):43-47 (2013.02)	造血幹細胞移植後のガンマグロブリン予防投与(0.1g/kg/週)の有効性の検討:単一施設での後方視的解析	高松博幸	第三内科
51	Internal Medicine (H24.4月)	Coenzyme Q10 Therapy in Hereditary Motor Sensory Neuropathy Type VI with Novel Mitofusin 2 Mutation.	高橋良一	神経内科
52	Neurological Sciences (H24.4月)	Parkinson's disease showing progressive conduction aphasia.	坂井健二	神経内科

53	The Journal of Biological chemistry (H24.4月)	Phenolic Compounds Prevent Amyloid β -Protein Oligomerization and Synaptic Dysfunction by Site-specific Binding.	小野賢二郎	神経内科
54	Biochimica et Biophysica Acta (H24.5月)	Anti-amyloidogenic effects of soybean isoflavones in vitro: Fluorescence spectroscopy demonstrating direct binding to A β monomers, oligomers and fibrils.	廣畑美枝	神経内科
55	Neurobiology of Aging (H24.9月)	Effect of melatonin on α -synuclein self-assembly and cytotoxicity.	小野賢二郎	神経内科
56	Neurobiology of Aging (H24.9月)	Posterior cingulate atrophy and metabolic decline in early stage Alzheimer's disease.	島 啓介	神経内科
57	Amyloid (H24.9月)	Coagulation and fibrinolysis abnormalities in familial amyloid polyneuropathy.	高橋良一	神経内科
58	Journal of Neurochemistry (H24.9月)	Cross-seeding effects of amyloid β -protein and α -synuclein.	小野賢二郎	神経内科
59	Neuropathology (H24.10月)	Multiple cerebral infarcts with a few vasculitic lesions in the chronic stage of cerebral amyloid angiopathy-related inflammation.	坂井健二	神経内科
60	Neurobiology of Aging (H24.12月)	Glucose metabolism and gray-matter concentration in apolipoprotein E ϵ 4 positive normal subjects.	佐村木美晴	神経内科
61	PLoS One. 7(8):e43904.8.24, 2012	Selective Expression of KCNS3 Potassium Channel α -Subunit in Parvalbumin-Containing GABA Neurons in the Human Prefrontal Cortex.	橋本隆紀	神経科精神科
62	American J Psychiatry 169:1082-1091, 2012	Deficits in Transcriptional Regulators of Cortical Parvalbumin Neurons in Schizophrenia	橋本隆紀	神経科精神科
63	Neurochemistry Int. 61:828-838, 2012	Social memory, amnesia, and autism: brain oxytocin secretion is regulated by NAD+ and single nucleotide polymorphism of CD38.	菊知 充	神経科精神科
64	Eur J Neuroscience 35:644-650, 2012	Language performance and auditory evoked fields in 2- to 5-year-old children.	菊知 充	神経科精神科
65	Scientific Reports 2:384, Epub 4.26, 2012	Oxytocin attenuates feelings of hostility depending on emotional context and individuals' characteristics.	廣澤 徹	神経科精神科
66	BMC Psychiatry 12:110, 2012	Long-term oxytocin administration improves social behaviors in a girl with autistic disorder.	棟居俊夫	神経科精神科
67	Front Hum Neurosci. 6:268, 2012	Hard to "tune in": neural mechanisms of live face-to-face interaction in individuals with high-functioning autistic spectrum disorder.	棟居俊夫	神経科精神科
68	Rev Neurosci. 23:263-268, 2012	A review of the default mode network in aging and dementia based on molecular imaging.	菊知 充	神経科精神科
69	Neurochem Int. 61:828-838, 2012	Social memory, amnesia, and autism: Brain oxytocin secretion is regulated by NAD(+) metabolites and single nucleotide polymorphisms of CD38.	菊知 充	神経科精神科
70	Neuroreport 23:299-303, 2012	Algorithm for estimation of brain structural location from head surface shape in young children.	菊知 充	神経科精神科
71	Hormones & Behavior 61:351-358, 2012	CD38 and its role in oxytocin secretion and social behavior.	菊知 充	神経科精神科
72	Neurosci Lett. 515:141-146, 2012	patiotemporal frequency characteristics of cerebral oscillations during the perception of fundamental frequency contour changes in one-syllable intonation.	菊知 充	神経科精神科
73	Hippocampus 22:896-905, 2012	New insights into "GPR40-CREB interaction in adult neurogenesis" specific for primates.	山嶋哲盛	神経科精神科
74	J Neurochem. 120:574-585, 2012	Why are hippocampal CA1 neurons vulnerable but motor cortex neurons resistant to transient ischemia?	山嶋哲盛	神経科精神科
75	Cytokine. (2012 May)	Tocilizumab masks the clinical symptoms of systemic juvenile idiopathic arthritis-associated macrophage activation syndrome: the diagnostic significance of interleukin-18 and interleukin-6.	Shimizu M	小児科
76	小児科(2012.04)	Henoch-Schoenlein紫斑病罹患時のフィブリノゲン低下により診断に至ったヘテロ型フィブリノゲン欠損症の1例.	清水 正樹	小児科
77	日本小児腎臓病学会雑誌(2012.05)別冊あり	腸管出血性大腸菌感染症における重症化および病勢評価の指標としてのサイトカインプロファイルの有用性.	清水 正樹	小児科
78	J Microbiol Immunol Infect. 2012 May	Lactobacillus casei cell wall extract directly stimulates the expression of COX2 independent of Toll-like receptor 2 in rat glial cells.	Sugimoto N	小児科
79	Brain & Development(2012.05)	A case of acute encephalopathy with hemophagocytic lymphohistiocytosis and clonal T-cell expansion.	Taizo Wada	小児科
80	Case Rep Gastroenterol. 2012 May	Successful treatment of primary sclerosing cholangitis with a steroid and a probiotic.	Shimizu M	小児科
81	Clin Immunol. 2012 Jun	Transient impairment of NK cell function in an infant born to a mother with adult-onset Still's disease: perinatal effect of maternal IL-18.	Shimizu M,	小児科
82	The Journal of Pediatrics.(2012 Jun)	Hemifacial Flushing after Bathing and Crying.	Tadafumi Yokovama	小児科
83	小児リウマチ(2012.06)	Tocilizumab治療中の全身型若年性特発性関節炎に合併したマクロファージ活性化症候群におけるサイトカインプロファイルの有用性.	清水 正樹	小児科
84	日本小児腎不全学会雑誌(2012.07)	薬剤性急性尿管間質性腎炎後の遷延する尿濃縮障害により診断に至ったネフロン瘻の1例.	清水正樹	小児科
85	日本小児腎不全学会雑誌(2012.07)	骨髄移植後に発症した血栓性微小血管症に対して、Plasma Dia-filtration(PDF)およびsustained low efficacy dialysis with filtration(SLED-f)が有効であった1例.	横山忠史	小児科
86	Cellular physiology and biochemistry. (July 2012)	Cellular Heat Acclimation Regulates Cell Growth, Cell Morphology, Mitogen-activated Protein Kinase Activation, and Expression of Aquaporins in Mouse Fibroblast Cells	Sugimoto N	小児科
87	Journal of Cardiology.(2012 Sep)	Natural history of medium-sized atrial septal defect in pediatric cases.	Takekatsu Saito,	小児科
88	日本小児循環器学会雑誌(2012.09)	胎児心臓超音波検査により診断された動脈管早期収縮の1例	中山 祐子	小児科

89	Clinical and vaccine immunology. 2012 Oct	Relapse of Systemic Juvenile Idiopathic Arthritis after Influenza Vaccination in a Patient Receiving Tocilizumab.	Masaki Shimizu	小児科
90	Journal of Human Genetics. (2012 Oct)	Paternal uniparental isodisomy of chromosome 22 in a patient with metachromatic leukodystrophy.	Yo Niida	小児科
91	Clinical Nephrology. (2012 Oct)	Thomsen-Friedenreich antigen exposure as a cause of Streptococcus pyogenes-associated hemolytic-uremic syndrome.	M Shimizu	小児科
92	Int J Hematol. 2012 Oct;	Clonal expansion of Epstein-Barr virus (EBV)-infected γ δ T cells in patients with chronic active EBV disease and hydroa vacciniforme-like eruptions.	Wada T	小児科
93	Cytokine. 2012 Oct	Compensated inflammation in systemic juvenile idiopathic arthritis: role of alternatively activated macrophages.	Shimizu M,	小児科
94	Journal of medical case reports(2012 Nov)	Sequentially appearing erythema nodosum, erythema multiforme and Henoch-Schönlein purpura in a patient with Mycoplasma pneumoniae infection: a case report	Masaki Shimizu	小児科
95	Molecular Genetics and Metabolism(2012 Nov)	Applying and testing the conveniently optimized enzyme mismatch cleavage method to clinical DNA diagnosis	Niida Y	小児科
96	Cytokine. (2012 Dec)	Cytokine profiles of patients with enterohemorrhagic Escherichia coli O111-induced hemolytic-uremic syndrome.	Masaki Shimizu	小児科
97	Thrombosis Medicine(2012.12)	富山EHEC/O111アウトブレイクにおける遺伝子組換え型トロンボモジュリン製剤の有用性 HUS/EHEC脳症小児例における遺伝子組換え型トロンボモジュリン製剤の臨床効果.	黒田 文人	小児科
98	小児科臨床(2013.01)	生後90ヵ月を過ぎて三種混合1期の予防接種が済んでいなかった小児5例への対処(原著論文)	横山 忠史	小児科
99	Pediatrics international. 2013 Feb	Clinical and immunophenotypic features of atypical complete DiGeorge syndrome.	Quang Van Vu	小児科
100	小児科(2013.02)	目で見る小児科 3DCTが有用であった魚骨誤飲の1例(図説)	島田 摩耶	小児科
101	Cytokine. (2013 Feb)	Distinct subsets of patients with systemic juvenile idiopathic arthritis based on their cytokine profiles.	Masaki Shimizu	小児科
102	J Allergy Clin Immunol. 2013 Feb	Aberrant glycosylation of IgA in Wiskott-Aldrich syndrome and X-linked thrombocytopenia.	Shimizu M	小児科
103	Clin Immunol. 2013 Feb	Distinct cytokine profile in juvenile systemic lupus erythematosus-associated macrophage activation syndrome.	Shimizu M	小児科
104	J Pediatr. 2013 Mar	Moth-eaten appearance of tubulointerstitial nephritis and uveitis syndrome on (99m)technetium dimercaptosuccinic acid scintigraphy.	Shimizu M	小児科
105	Journal of Clinical Virology(2013.03)	Agranulocytosis after infectious mononucleosis	Tadafumi Yokoyama	小児科
106	Modern rheumatology(2013 Jan)	Accumulation of mature B cells in the inflamed muscle tissue of a patient with anti-155/140 antibody-positive juvenile dermatomyositis.	Tadafumi Yokoyama	小児科
107	J Dermatol Sci(2012.9)	Basophils and mast cells play critical roles for leukocyte recruitment in IgE-mediated cutaneous reverse passive Arthus reaction	Jin G	皮膚科
108	Mod Rheumatol(2012. 9)	Clinical and laboratory features dependent on the age at onset in Japanese systemic sclerosis	Hasegawa M	皮膚科
109	Arth Rheum (2012.11)	Potential roles of interleukin 17A in the development of skin fibrosis	Okamoto Y	皮膚科
110	J Dermatol (2012.11)	Skin sclerosis as a manifestation of POEMS syndrome	Hasegawa M	皮膚科
111	Mod Rheumatol (2012.11)	High prevalence of primary biliary cirrhosis and disease-associated autoantibodies in Japanese patients with systemic sclerosis	Imura-Kumada S	皮膚科
112	J Invest Dermatol (2012.12)	IL-6 Blockade Attenuates the Development of Murine Sclerodermatous Chronic Graft-Versus-Host Disease	Le Huu D	皮膚科
113	J Dermatol(2012.12)	Two cases of livedo vasculopathy with non-criteria antiphospholipid	Hasegawa M	皮膚科
114	Ann Rheum Dis (2013.1)	Autoantibodies to small ubiquitin-like modifier activating enzymes in Japanese patients with dermatomyositis: comparison with a UK Caucasian cohort	Fujimoto M	皮膚科
115	Rheumatology (2013.2)	Augmented ICOS expression in patients with early diffuse cutaneous systemic sclerosis	Hasegawa M	皮膚科
116	J Dermatol (2013.2)	Anti-topoisomerase I antibody levels as serum markers of skin sclerosis in systemic sclerosis	Hasegawa M	皮膚科
117	J Dermatol Sci (2013.3)	Chemokine receptors CCR2 and CX3CR1 regulate skin fibrosis in the mouse model of cytokine-induced systemic sclerosis.	Arai M	皮膚科
118	Asian Journal of Surgery(2012.04)	Recent role of Hassab's operation for cirrhotic patients: Combination with endoscopic procedure for varices	Hayashi H, et all	肝胆臓・移植外科
119	肝胆臓(2012.04)	胆嚢癌のリンパ節転移様式とその診断	中川原寿俊, 他	肝胆臓・移植外科
120	消化器外科(2012.04)	膵・耐糖能機能検査	中川原寿俊, 他	肝胆臓・移植外科
121	Experimental and Therapeutic Medicine(2012.05)	Pilot study of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine and oral S-1 for resectable pancreatic cancer	Tajima H, et all	肝胆臓・移植外科
122	臨床腫瘍プラクティス(2012.05)	肝胆臓のがんに対する術前補助化学療法の意義は?	田島秀浩, 他	肝胆臓・移植外科
123	Oncology Letters(2012.06)	Neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine for pancreatic cancer increases in situ expression of the apoptosis marker M30 and stem cell marker CD44	Tajima H, et all	肝胆臓・移植外科
124	International Journal of Oncology 2012.06)	Valproic acid, a histone deacetylase inhibitor, enhances radiosensitivity in esophageal squamous cell carcinoma.	Shoji M, et all	肝胆臓・移植外科
125	Experimental and Clinical Transplantation(2012.06)	Partial portal arterialization for hepatic arterial thrombosis after living-donor liver transplant	Hayashi H, et all	肝胆臓・移植外科

126	胆膵の病態生理(2012.06)	発生学的見地からみた下部胆管癌のリンパ節進展様式	中川原寿俊, 他	肝胆膵・移植外科
127	Surg Today(2012.08)	Management of postoperative hemorrhage associated with factor VIIIinhibitor: report of a case	Onishi I, et all (現:金沢医療センター)	肝胆膵・移植外科
128	手術(2012.08)	膵頭部癌に対するSMA合併切除を伴う膵頭一括切除術	北川裕久, 他	肝胆膵・移植外科
129	臨床解剖研究会記録(第16回研究会記録)(2013.02)	解剖からみた肝胆膵外科手術 -痔瘻手術における小腸間膜根部郭清の重要性-	太田哲生	肝胆膵・移植外科
130	臨床解剖研究会記録(第16回記録)(2013.02)	発生学に基づいた胆嚢癌のリンパ節転移様式とその治療	中川原寿俊, 他	肝胆膵・移植外科
131	Molecular and Clinical Oncology (2013.03 Epub ahead of print)	The reotropancreatic fusion fascia acts as a barrier against infiltration by pancreatic carcinoma	Kitagawa H, et all	肝胆膵・移植外科
132	Surgery Today (2012.10 Epub ahead of print)	The management of a remnant pancreatic stump for preventing the development of postoperative pancreatic fistulas after distal pancreatectomy: current evidence and our strategy	Makino I, et all	肝胆膵・移植外科
133	Surgery Today (2012.10Epub ahead of print)	Do proton pump inhibitors protect against cancer progression in GERD?	Miyashita T, et all	肝胆膵・移植外科
134	癌の臨床(2012.04)	胃癌患者における血清HER2-ECD値の意義	尾山勝信, 他	胃腸外科
135	Journal of Surgical Oncology (2012.05)	Efficacy of pre-operative chemotherapy with docetaxel,cisplatin,and S-1(DCS therapy) and curative resection for gastric cancer with pathologically positive para-aortic lymph nodes.	Oyama K, et all	胃腸外科
136	Rozhledy v chirurgii (2012.06)	Gastric cancer -state of the art in Japan	Fujimura T,et all	胃腸外科
137	外科(2012.06)	鼠径部ヘルニア 大腿ヘルニア	中村慶史, 他	胃腸外科
138	Clinica and Experimental Medicine (2012.07 Epub ahead of print)	Serum cytokeratin 18 as a biomarker for gastric cancer.	Oyama K, et all	胃腸外科
139	BMC Gastroenterology (2012.08)	Cholecystomucoclasia: reevaluation of safety and validity in aged populations.	Tsukada T, et all	胃腸外科
140	Int J Oncol (2012.08)	The role of human peritoneal mesothelial cells in the fibrosis and progression of gastric cancer	Tsukada T, et all	胃腸外科
141	Int J Oncol (2012.08)	Angiotensin II enhances epithelial-to-mesenchymal transition through the interaction between activated hepatic stellate cells and the stromal cell-derived factor-1/CXCR4 axis in intrahepatic cholangiocarcinoma	Okamoto K, et all	胃腸外科
142	Oncology Reports(2012.09)	Antitumor and anti-metastatic effects of cyclooxygenase-2 inhibition by celecoxib on human colorectal carcinoma xenografts in nude mouse rectum	Ninomiya I, et all	胃腸外科
143	癌と化学療法(2012.09)	胃癌センチネルリンパ節ナビゲーション手術の現状	藤村 隆, 他	胃腸外科
144	日本臨床外科学会雑誌(2012.10)	食道切除後縦隔胃管再建時の経胃管経腸栄養カテーテル留置法の臨床成績	二宮 致, 他	胃腸外科
145	消化器医学(2012.12)	逆流性食道炎からBarrett食道, 食道腺癌への伸展機序	宮下知治, 他	胃腸外科
146	J Gastroenterol. (2013.01 Epub ahead of print)	Aprepitant plus granisetron and dexamethasone for prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients with gastric cancer treated with S-1 plus cisplatin.	Oyama K, et all	胃腸外科
147	Digestion	Impact of inflammation-metaplasia- adenocarcinoma sequence and prevention in surgical rat models	Miyashita T, et all	胃腸外科
148	日本外科学会雑誌(2013.01)	癌のリンパ節微小転移 -外科治療からみた臨床意義- 4. 胃癌	藤村 隆, 他	胃腸外科
149	臨床解剖研究会記録(第16回記録)(2013.02)	上腸間膜動脈周囲局所解剖からみる結腸癌郭清手技の再考	柄田智也, 他	胃腸外科
150	Int J Oncology (2013.01 Epub ahead of print)	Low-dose paclitaxel modulates tumor fibrosis in gastric cancer	Tsukada T, et all	胃腸外科
151	Cancer Chemother Pharmacol. (2013.02 Epub ahead of print)	Phase I/II study of intraperitoneal docetaxel plus S-1 for the gastric cancer patients with peritoneal carcinomatosis.	Fushida S, et all	胃腸外科
152	International Journal of Cancer (2012.09 Epub ahead of print)	The severity of duodeno-esophageal reflux influences the development of different histological types of esophageal cancer in a rat model	Miyashita T, et all	胃腸外科
153	日本臨床	MRIによる乳癌進展度診断の精度	川島博子, 他	乳腺科
154	小児外科 (2012.12)	VURび合併した尿路感染症の治療	宮本 正俊	小児外科
155	J Orthop Sci (2012.9)	Innovative antimicrobial coating of titanium implants with iodine	Tsuchiya H	整形外科
156	Anticancer Res (2012.5)	Treatment strategies for well-differentiated liposarcomas and therapeutic outcomes	Yamamoto N	整形外科
157	Low Temp Med	Histological study on liquid nitrogen-treated tumor-bearing bone of the proximal femur excised eight years after transplantation	Yamamoto N	整形外科
158	Orthopedics (2012.5)	Thoracic disk herniation with paraparesis treated with transthoracic microdiscectomy in a 14-year-old girl	Ueda Y	整形外科
159	Orthopedics (2012.12)	Eosinophilic granuloma of the lumbar spine in an adult	Ueda Y	整形外科
160	Formosan Journal of Musculoskeletal Disorders	Salvage surgery with a tumor prosthesis for femoral condylar nonunion at the very advanced age of 90 years: a case report	Watanabe K	整形外科
161	Bone (2012.7)	Vascular tissues are a primary source of BMP2 expression during bone formation induced by distraction osteogenesis	Matsubara H	整形外科
162	Sports Med Arthrosc Rehabil Ther Technol (2012.12)	Contralateral anterior cruciate ligament injury after anterior cruciate ligament reconstruction: a case controlled study	Nakase J	整形外科
163	Spine J (2012.6)	Epidural inflammatory pseudotumor in the thoracic spine in a patient with polymyalgia rheumatica	Kato S	整形外科

164	J Spinal Disord Tech (2012.8)	The effect of spinal shortening after total en bloc spondylectomy: a biomechanical study in the thoracic spine	Kato S	整形外科
165	Orthopedics (2012.9)	Preoperative embolization significantly decreases intraoperative blood loss during palliative surgery for spinal metastasis	Kato S	整形外科
166	J Neurosurg Spine (2012.12)	A novel surgical technique for ossification of posterior longitudinal ligament in the thoracic spine	Kato S	整形外科
167	J Orthop Surg (Hong Kong) (2012.8)	A glass foreign body migrating into the lumbar spinal canal: a case report	Yoshioka K	整形外科
168	J Plast Reconstr Aesthet Surg (2012.11)	Keloid formation after trigger finger release: A case report.	Tada K	整形外科
169	J Orthop Sci	Establishment of an animal model for delayed-onset muscle soreness after high-intensity eccentric exercise and its application for investigating the efficacy of low-load eccentric training	Takata M	整形外科
170	Int J Cancer (2012.11)	Imaging the inhibition by anti- β 1 integrin antibody of lung seeding of single osteosarcoma cells in live mice	Kimura H	整形外科
171	J Orthop Sci (2012.7)	The clinical utility of a one-shot energy subtraction method for thoracic spine radiography	Sasagawa T	整形外科
172	J Orthop Sci (2012.9)	Repair of segmental bone defects in rabbit tibia promoted by a complex of β -tricalcium phosphate and hepatocyte growth factor	Goshima K	整形外科
173	Journal of Surgical Oncology (2012.9)	A novel combined radiological method for evaluation of the response to chemotherapy for primary bone sarcoma	Miwa S	整形外科
174	Anticancer Research (2012.9)	Caffeine induces apoptosis by inhibiting Akt/mTOR/S6K, NF- κ B and MAPK pathways in osteosarcoma cell	Miwa S	整形外科
175	PLoS ONE (2012.12)	TNF- α and tumor lysate promote the maturation of dendritic cells for immunotherapy for advanced malignant bone and soft tissue tumors	Miwa S	整形外科
176	J Orthop Sci (2012.5)	Histological finding of atypical subtrochanteric fracture after long-term alendronate therapy	Kajino Y	整形外科
177	J Arthroplasty (2012.10)	Does degree of the pelvic deformity affect the accuracy of computed tomography-based hip navigation?	Kajino Y	整形外科
178	J Orthop Sci (2013.1)	Uncultured adipose-derived regenerative cells promote peripheral nerve regeneration	Suganuma S	整形外科
179	Orthopedics (2012.11)	Ulnar nerve palsy associated with midshaft forearm fractures	Suganuma S	整形外科
180	Mod Rheumatol (2012.9)	Hyperostosis around the bilateral acetabulum associated with hypoparathyroidism	Iwai S	整形外科
181	原上記念生命科学財団研究報告集	原発性悪性骨腫瘍および転移性骨腫瘍に対する液体窒素処理腫瘍骨移植と樹状細胞を用いた凍結免疫療法の確立	土屋 弘行	整形外科
182	整形・災害外科	コンピューターナビゲーションシステムを用いた人工股関節置換術	加畑 多文	整形外科
183	関節外科	表面置換型人工股関節置換術の術後合併症とラーニングカーブ	加畑多文	整形外科
184	東海骨軟部腫瘍	大腿軟部腫瘍の一例	山本 憲男	整形外科
185	中部整災誌	腫瘍切除後再建に用いた自家処理骨感染後の治療成績	山本 憲男	整形外科
186	日本生体電気・物理刺激研究会	Single cellレベルでのがん細胞 <i>in vivo</i> 動態イメージング	山本 憲男	整形外科
187	日創外固定骨延長会誌	骨折部周囲への最小侵襲固定術の骨癒合期間の検討	渡邊 孝治	整形外科
188	日足外会誌	第2MTP関節脱臼を伴った外反母趾の手術成績	渡邊 孝治	整形外科
189	臨整外	Taylor Spatial Frameの矯正精度一脛骨変形矯正症例での評価一	渡邊 孝治	整形外科
190	日人工関節会誌	関節リウマチによる骨性強直膝に対して人工膝関節置換術を行った1例	前田 亨	整形外科
191	中部整災誌	レムナントを有する前十字靭帯損傷膝の検討	中瀬 順介	整形外科
192	日整スポーツ医学会誌	屈曲位MRIを用いた膝前十字靭帯再建術後の早期骨孔内変化の検討	中瀬 順介	整形外科
193	JOSKAS	MRI T2マッピングを用いた膝関節軟骨の評価 従来のT2強調画像との比較	中瀬 順介	整形外科
194	整・災外	胸椎後縦靭帯骨化症に対する新しい後方除圧固定術	加藤 仁志	整形外科
195	臨床整形	手根管症候群に対する経口プロスタグランジンE1誘導体製剤(limprost alfadex)の治療効果について	多田 薫	整形外科
196	日マ会誌	膝関節周辺の腫瘍摘出術後に皮弁を用いて再建を行った11例の検討	多田 薫	整形外科
197	日手会誌	手関節掌背屈運動時における「手関節リズム」の提唱	多田 薫	整形外科
198	中部整災誌	片側下肢の腫脹が初発症状であった大腿静脈発生平滑筋肉腫の2例	木村 浩明	整形外科
199	J. Spine Res	Universal Fusion and Stabilization System(UFSS)の使用経験-L4/5固定・L3/4制動術の短期成績	笹川 武史	整形外科
200	Hip Joint	表面置換型人工股関節におけるtarget angle と可動域	梶野 良知	整形外科
201	整形・災害外科	脛骨骨肉腫に対する液体窒素処理後の再建に遊離血管柄付き腓骨を用いた1例	菅沼 省吾	整形外科
202	骨折	橈骨遠位端骨折手術におけるFCR approachと正中神経掌側皮枝の関係	菅沼 省吾	整形外科
203	日人工関節会誌	Ceramic linerのincomplete seating -Trident HA acetabular systemでの検討-	岩井 信太郎	整形外科
204	Hip Joint	表面置換型人工股関節全置換術導入初期100例の合併症の検討	岩井 信太郎	整形外科
205	日人工関節会誌	表面置換型人工股関節置換術:導入初期100例の合併症とラーニングカーブの検討	岩井 信太郎	整形外科
206	中部整災誌	足背歩行を行っていた重度内反尖足の1例	野村 一世	整形外科
207	JOSKAS	棘窩切痕部ガングリオンによる肩甲上神経麻痺に対する鏡視下除圧術	小坂 正裕	整形外科
208	日整外スポーツ医会誌	膝蓋外側滑膜ヒダ障害に対する鏡視下滑膜ヒダ切除術の経験	小坂 正裕	整形外科
209	日臨スポーツ医会誌	膝前十字靭帯損傷の診断およびレムナントの評価におけるMRI斜位冠状断像の有用性	小坂 正裕	整形外科
210	中部整災誌	転移性脊椎腫瘍に対する凍結自家がん移植を併用した除圧固定術	新村 和也	整形外科
211	日人工関節会誌	リンパ浮腫に合併した変形性股関節症に対しロード担持表面処理を施したチタン製人工股関節を用いた治療経験	黒田 一成	整形外科

212	Hip Joint	THAにおける大腿骨コンポーネント設置と術中X線写真	黒田 一成	整形外科
213	JOSKAS	変性膝関節軟骨におけるMRI T2マッピング像と病理組織像の比較	虎谷 達洋	整形外科
214	日整外スポーツ医学会誌	スポーツ選手に発生した膝蓋骨疲労骨折11例の治療成績～発生因子に関する検討～	虎谷 達洋	整形外科
215	整・災外	環軸椎亜脱臼の進行によりrespiratory quadriplegiaを呈した関節リウマチの1例	藤田 健司	整形外科
216	日人工関節学会誌	強直性脊椎炎による股関節症に対し、CT based navigation system を使用し表面置換型人工股関節置換術を施行した3例	藤田 健司	整形外科
217	中部整災誌	楔状・第1中足骨癒合症の2例3足の治療経験	大橋 義徳	整形外科
218	臨整外	異常音を生じ脱臼脱臼前に再置換を行った京セラ製人工股関節 ABSカップの1例	稲谷 弘幸	整形外科
219	中部整災誌	骨端核出現前に生じた小児上腕骨内顆骨骨折の1例	八野田 愛	整形外科
220	中部整災誌	化膿性膝関節炎に伴った膝周囲の軟部組織欠損に対し腓腹筋弁を用いて治療した2例	沼田 仁彬	整形外科
221	中部整災誌	PLIFにおけるすべり矯正後に椎間孔狭窄をきたした2例	高橋 直樹	整形外科
222	中部整災誌	特発性大腿骨外側顆骨壊死に対し単顆型人工膝関節置換術を施行した2例	山本 大樹	整形外科
223	Hip Joint	術後病棟内リハビリテーションに対する認識—人工股関節置換術後の床上期・離床期に焦点をあてて—	江田 敦美	整形外科
224	The International Journal of Medical Robotics and Computer Assisted Surgery	Cardiovascular and respiratory effects of the degree of head-down angle during robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy.	Yoshifumi Kadono	泌尿器科
225	ANTICANCER RESEARCH (2013.3)	Efficacy of Androgen Deprivation Therapy for Localized Prostate Cancer: Analysis of pT0 Evaluated by Radical Prostatectomy Specimen	Yoshifumi Kadono	泌尿器科
226	Prostate (2013.3)	Exogenous SPARC Suppresses Proliferation and Migration of Prostate Cancer by Interacting With Integrin beta1.	Mizokami A	泌尿器科
227	Prostate (2012.12)	Down-regulation of calcium/calmodulin-dependent protein kinase kinase 2 by androgen deprivation induces castration-resistant prostate cancer.	Mizokami A	泌尿器科
228	Am J Pathol	Androgen receptor roles in the benign prostate hyperplasia (BPH)	Izumi K	泌尿器科
229	Prostate Int	Trends of clinical symptoms and prognosis of middle-aged prostate cancer patients after instigation of prostate specific antigen-based population screening	Yasuhide Kitagawa	泌尿器科
230	Int Urogynecol J (2013.3)	Predictor of de novo stress urinary incontinence following TVM procedure: a further analysis of preoperative voiding function	Yasuhide Kitagawa	泌尿器科
231	International Journal of Urology (2012.12)	Japan Cancer of the Prostate Risk Assessment for combined androgen blockade including bicalutamide: Clinical application and validation	Yasuhide Kitagawa	泌尿器科
232	J. Obstet. Gynaecol. Res (2012.5)	Fluoroscopic imaging of needle position in the tension-free vaginal mesh procedure for pelvic organ prolapse: Two case reports	Yasuhide Kitagawa	泌尿器科
233	Genome Res (2012.5)	Human postmeiotic sex chromatin and its impact on sex chromosome evolution.	Koh E	泌尿器科
234	Asian J Androl (2012.5)	Effectiveness and adverse effects of hormonal therapy for prostate cancer: Japanese experience and perspective	Namiki M	泌尿器科
235	J Androl (2012.5~6)	Single-nucleotide polymorphisms in the SEPTIN12 gene may be a genetic risk factor for Japanese patients with Sertoli cell-only syndrome.	Koh E	泌尿器科
236	Oral Oncol. (2012.8)	Induction of lymphangiogenesis through vascular endothelial growth factor-C/vascular endothelial growth factor receptor 3 axis and its correlation with lymph node metastasis in nasopharyngeal carcinoma.	脇坂尚宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
237	Ann Otol Rhinol Laryngol. (2012.8)	Adjuvant chemotherapy with an oral fluoropyrimidine, S-1, following reduced RADPLAT in advanced laryngeal cancer.	脇坂尚宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
238	Auris Nasus Larynx (2012.10)	Efficacy and safety of garenoxacin in the treatment of upper respiratory tract infections.	伊藤真人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
239	Auris Nasus Larynx (2012.12)	Cochlear implantation in a patient with superficial siderosis.	杉本寿史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
240	Histopathology (2012.12)	Lymphangiogenesis in regional lymph nodes predicts nodal recurrence in pathological N0 squamous cell carcinoma of the tongue.	広田京子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
241	Auris Nasus Larynx (2012.4)	Current understanding and management of nasopharyngeal carcinoma.	吉崎智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
242	喉頭 (2012)	化学放射線療法(動注化学療法)	脇坂尚宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
243	喉頭 (2012)	喉頭乳頭腫に対するシドフォビル治療	室野重之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
244	Otology Japan (2012)	迷路気腫を伴った外傷性外リンパ瘻の2例と多断面再構成画像の有効性について	上野貴雄	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
245	Otology Japan (2012)	側頭骨悪性腫瘍(聴器癌)に対する超選択的動注化学療法	吉崎智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
246	新薬と臨床 (2012)	耳鼻咽喉科領域感染症に対するガレンキサシン(GRNX)の有用性の検討 多施設共同研究	伊藤真人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
247	花粉症研究会会報 (2012)	頭頸部癌とアレルギーの免疫クロストーク	中西清香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
248	Oncol Rep. (2013.2)	Loss of claudin-7 is a negative prognostic factor for invasion and metastasis in oral squamous cell carcinoma.	Yoshizawa K	歯科口腔外科
249	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. (2012.11)	A hypothesis on the desired postoperative position of the condyle in orthognathic surgery: a review.	Ueki K	歯科口腔外科
250	J Craniomaxillofac Surg. (2012.12)	Changes in temporomandibular joint and ramus after sagittal split ramus osteotomy in mandibular prognathism patients with and without asymmetry.	Ueki K	歯科口腔外科

251	J Craniomaxillofac Surg. (2013.3)	Assessment of bone healing and hypoesthesia in the upper lip after Le Fort I osteotomy with self-setting α -tricalcium phosphate and absorbable plates.	Ueki K	歯科口腔外科
252	J Craniomaxillofac Surg. (2012.6)	Effect of self-setting α -tricalcium phosphate between segments for bone healing and hypoaesthesia in lower lip after sagittal split ramus osteotomy.	Ueki K	歯科口腔外科
253	十全医学会誌	歯科用インプラントによる下歯槽神経損傷後の治癒過程に関する実験的研究	宮崎真凡	歯科口腔外科
254	Jpn J Oral Diag/Oral Med.	Expression of ADAMS-4 in Ttemporomandibular joint disorder model of the rabbit.	Ymamada M	歯科口腔外科
255	J Am Coll Cardiol. 2012 May 22;59(21):1914.	Perfect correspondence of mitral valve perforation using real-time 3-dimensional transesophageal echocardiography.	Mori M(3番目),Hayashi K,(6番目), et al.	循環器内科
256	Int J Cardiol. 2012 Jul 12;158(2):235-9.	Impact of out-stent plaque volume on in-stent intimal hyperplasia: results from serial volumetric analysis with high-gain intravascular ultrasound.	Hayashi K(7番目), et al.	循環器内科
257	Rinsho Byori. 2012 Aug;60(8):725-33.	Prediction formula for interrupter respiratory resistance in healthy Japanese adults.	Nakade Y(1番目), et al.	検査部
258	Clin Exp Nephrol. 2012 Aug;16(4):580-588.	ANCA-associated systemic vasculitis in Japan: clinical features and prognostic changes.	Wada T(11番目), et al.	腎臓内科
259	Cancer Res. 2012 Sep 1;72(17):4459-71.	Acyclic retinoid targets platelet-derived growth factor signaling in the prevention of hepatic fibrosis and hepatocellular carcinoma development.	Sakai Y(4番目), et al.	消化器内科
260	Clin Exp Nephrol. 2012 Oct;16(5):679-89.	Effects of adipose-derived mesenchymal cells on ischemia-reperfusion injury in kidney.	Sakai Y(3番目),Wada T(7番目), et al.	腎臓内科
261	Eur J Clin Invest. 2012 Oct;42(10):1094-9.	Post-prandial remnant lipoprotein metabolism in autosomal recessive hypercholesterolaemia.	Hayashi K(10番目), et al.	循環器内科
262	Biochem Biophys Res Commun. 2012 Nov 9;428(1):36-43.	Association of changes in the gene expression profile of blood cells with the local tumor inflammatory response in a murine tumor model.	Sakai Y(1番目),Wada T(8番目), et al.	消化器内科
263	J Am Coll Cardiol. 2012 Dec 11;60(23):2419.	Anomalous origin with myocardial bridging in coronary artery: stealth images in computed tomography.	Hayashi K(7番目), et al.	循環器内科
264	Heart Rhythm. 2013 Jan;10(1):61-7.	A novel mutation in the transmembrane nonpore region of the KCNH2 gene causes severe clinical manifestations of long QT syndrome.	Hayashi K(2番目), et al.	循環器内科
265	Clin Exp Nephrol. 2013 Feb;17(1):3-9.	Nodular lesions and mesangiolysis in diabetic nephropathy.	Wada T(1番目), Sakai Y(5番目), et al.	腎臓内科
266	Cell Immunol. 2013 Mar;282(1):44-52.	ER stress induced impaired TLR signaling and macrophage differentiation of human monocytes.	Sakai Y(2番目),Wada T(5番目), et al.	消化器内科
267	Clin Nephrol. 2013 Mar;79(3):246-52.	Henoch-Sch?nlein purpura nephritis in a patient with IgG4-related disease: a possible association.	Hayashi K(8番目), et al.	循環器内科
268	Clin Cardiol. 2013 Mar;36(3):160-5	Impact of systolic dysfunction in genotyped hypertrophic cardiomyopathy.	Hayashi K(3番目), et al.	循環器内科
269	日本放射線技術学会誌 2012年4月	逐次近似再構成法を応用した新しい画像再構成法に対する画質評価	高田忠徳	放射線部
270	Clinical Nuclear Medicine 2013 電子版	Improved detection of sentinel lymph nodes in SPECT/CT images acquired using a low- to medium-energy-general-purpose (LMEGP) collimator	米山 寛人	放射線部
271	Critical Care 2013,17:R133 July 11, 2013	Decision tree model for predicting outcomes after out-of-hospital cardiac arrest in the emergency department	後藤由和	救急部
272	J Toxicol Sci (2012 Oct)	Effects of acute low-dose ethanol on inflammatory reactions to endotoxin-induced shock in rats.	谷口 巧	集中治療部
273	Minerva Anesthesiol (2013 May)	Efficacy of endotoxin adsorption therapy (polymyxin B hemoperfusion) for methicillin-resistant Staphylococcus aureus toxic shock syndrome: a case report about five patients.	谷口 巧	集中治療部
274	Anaesth Intensive Care (2012 May)	Elimination of teicoplanin by adsorption to the filter membrane during haemodiafiltration: screening experiments for linezolid, teicoplanin and vancomycin followed by in vitro haemodiafiltration models for teicoplanin.	岡島正樹	集中治療部
275	Diabetes, 2012 Apr 3.	CCR5 plays a critical role in obesity-induced adipose tissue inflammation and insulin resistance by regulating both macrophage recruitment and M1/M2 status	宮本謙一	薬剤部
276	Patient Prefer. Adherence, 6, 605-611 (2012. 7)	Pharmacist-based donepezil outpatient consultation service to improve medication persistence.	宮本謙一	薬剤部

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 富田 勝郎	
管理担当者氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器内科長 金子 周一 ・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘 ・腎臓内科長 和田 隆志 ・呼吸器内科長 笠原 寿郎 ・神経内科長 山田 正仁 ・子どものこころ診療科長 棟居 俊夫 ・放射線科長 蒲田 敏文 ・皮膚科長 竹原 和彦 ・呼吸器外科長 小田 誠 ・肝胆膵・移植外科長 太田 哲生 ・乳腺副科長 井口 雅史 ・脊椎・脊髄外科長 村上 英樹 ・眼科長 杉山 和久 ・産科婦人科長 藤原 浩 ・脳神経外科長 濱田 潤一郎 ・歯科口腔外科長 川尻 秀一 ・総務課長 長谷川 浩一 	<ul style="list-style-type: none"> ・内分泌・代謝内科長 武田 仁勇 ・循環器内科長 山岸 正和 ・血液内科長 中尾 眞二 ・総合診療内科長 小泉 順二 ・神経科精神科長 三邊 義雄 ・小児科長 谷内江 昭宏 ・放射線治療科長 高仲 強 ・心臓血管外科長 渡邊 剛 ・内分泌・総合外科長 石川 紀彦 ・胃腸外科長 藤村 隆 ・整形外科長 土屋 弘行 ・泌尿器科長 並木 幹夫 ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一 ・麻酔科蘇生科長 山本 健 ・核医学診療科長 絹谷 清剛 ・薬剤部長 宮本 謙一 ・経営管理課長 一井 信吾 ・医事課長 久保 真一

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記 録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写 真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中 の診療経過の要約及び入院治療計画書	医事課 各診療科 看護部 薬剤部	診療録は、外来は1患者1ファイル、 入院は1入院期間1ファイル。(電子診 療録は1患者1ファイル)

病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	総務課	
	高度医療の提供の実績	医事課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	開催順
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	開催順
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	発生順
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	発生順
当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	開催順	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制 院内感染のための指針の策定状況	医事課	
	院内感染のための委員会の開催状況	医事課	開催順
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	医事課	開催順
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	発生順
	医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	開催順
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	開催順
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	各外来・病棟	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医事課・ME機器管理センター	開催順
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医事課・経営管理課	発生順
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課・経営管理課	発生順

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 富田 勝郎
閲覧担当者氏名	総務課長 長谷川 浩一
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	74.7%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数		10,555人
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,709人
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		398人
	D : 初診の患者の数		17,281人

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネージャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が2回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること</p> <p>(3) 安全管理対策のための教育及び研修に関すること</p> <p>(4) 発生した医療事故原因の分析及び改善策等に関すること</p> <p>(5) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>【平成24年度】</p> <p>医療安全研修(講演・講習)</p> <p>『この患者さん断れないの？－医師法の応召義務と正当理由－』6/15, 6/22</p> <p>『指示出し・指示受けに関する講習会』7/20</p> <p>『医療従事者におけるコミュニケーションエラーと対策』9/13</p> <p>『インシデント報告と新インシデントシステム』10/11</p> <p>『医薬品安全管理』11/5</p> <p>『医療機器安全管理』12/4</p> <p>『平成24年度医療安全の取り組み』3/11</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p><input type="checkbox"/> 事故報告等の分析結果を現場へフィードバック</p> <p><input type="checkbox"/> 医療従事者の医療事故防止に関する教育</p> <p><input type="checkbox"/> 事故防止のための基礎知識の提供</p> <p><input type="checkbox"/> 事故報告書等から必要なマニュアルを作成</p> <p><input type="checkbox"/> インシデントサマリに再発防止策を提案</p> <p><input type="checkbox"/> 事故防止マニュアルの見直し</p> <p><input type="checkbox"/> GRM等による医療現場のラウンド</p> <p><input type="checkbox"/> 院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布</p> <p><input type="checkbox"/> 院外の事故情報の提供による注意喚起</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2 名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1 名) <input type="checkbox"/> 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・所属職員：専任(2)名 兼任(14)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <p>(1) 医療にかかる安全管理対策及び医療事故対策の企画立案に関する事 (2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関する事 (3) 安全管理のための教育及び研修企画及び運営に関する事 (4) アクシデント及びインシデント報告の調査及び分析に関する事 (5) リスクマネジャーとの連絡調整に関する事 (6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認及び指導に関する事 (7) 患者家族への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認及び指導に関する事 (8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関する事 (9) 金沢大学医療安全管理委員会に用いられる資料及び議事録の作成、その他当該委員会の事務に関する事 (10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関する事</p>	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会に関する基本事項 3. 従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 11 回
・活動の主な内容 (1) 院内感染予防の方策及び監視に関すること (2) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること (3) 院内感染についての教育活動に関すること (4) 院内感染の調査に関すること (5) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 5 回
・研修の主な内容 【平成24年度】 感染対策研修 (講演) 『耐性菌対策～HICTからの報告』 『針刺し切創、血液体液曝露の現状と対策』 『感染制御の重要性～ひとりひとりができること～』 『感染対策の現状と課題』『アウトブレイクを防ごう！吐物排泄物の処理』 (DVD研修会) 『手指衛生トレーニング』 その他 感染対策指導 「新規採用者対象の感染対策研修」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 ・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 院内感染対策チーム(ICT)の会議において、院内感染に関する問題を検討し、その改善策等を院内感染防止対策委員会に諮る。また、その改善策等を感染制御担当者(ICM)連絡会、院内ラウンド、研修会、感染対策ニュース等で院内に周知する。	

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・活動の主な内容 【平成24年度】医療安全研修(平成24年11月5日開催) 「麻薬注射オーダリングの運用方法」「医薬品のインシデント」「医薬品の損耗について」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	年 回
・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・業務の主な内容 1) 医薬品の採用 2) 医薬品情報の収集・管理・提供 3) 医薬品の購入管理 4) 薬剤部から外来および入院患者への医薬品の処方・交付 5) 病棟における医薬品の管理 6) 中央診療施設・外来部門における医薬品の管理 7) 入院患者への医薬品使用等の管理・指導	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 医療安全管理部のカンファレンスにおいて、インシデント事例の報告や医薬品に関する問題提起などを受けて検討し、その改善策等を院内に周知する。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回
・活動の主な内容	
閉鎖式保育器について (H24/5/8) 血液浄化装置の取り扱い(H24/5/10) Pinnacle3について(H24/5/16) 手術室における血液浄化 (H24/6/14) 放射線治療に関して (H24/7/11) 補助循環装置の充填法 (H24/7/31) COCOAIに関して(H24/10/17)	除細動器の点検法(H24/10/18) 補助循環装置について (H24/10/23) 医療安全研修「輸液・シリンジポンプ・人工呼吸器回路」 (H24/12/7) 保育器の点検法(H24/1/15) 人工呼吸器研修「サーボ」(H25/2/25~3/1) 除細動器の取り扱い法 (H25/3/12) エクリプスの取り扱い(H24/11/28)
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	年 1 回
・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
・保守点検の主な内容	
各医療機器の患者使用毎の終業点検あるいは年数回の定期点検。 一部重要機器は外部業者への委託による、年一回の動作確認および定期部品交換。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
・その他の改善のための方策の主な内容	
医療安全管理部のカンファレンスでのインシデント事例の報告や、問題提起などを受けて検討し、その改善策等を院内に周知する。	